
岐阜県立東濃フロンティア高等学校

校長 吉村 智典
学校住所 土岐市泉町河合1127-8 電話 0572-55-4151

- 1 会議名 東濃フロンティア高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月12日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 東濃フロンティア高等学校 会議室
開催にあたり、学校見学・授業参観を実施した
- 4 参加者

会長	山田 利彦	土岐市泉西公民館館長
副会長	安藤 高彦	泉町河合区副区長
委員	岡部 真弓	土岐保護区保護司
	三浦 直之	東濃鉄道多治見営業所助役
	藤井 成美	東濃フロンティア高等学校育友会本部役員
	村野 政章	NPO法人Earth as Mother 本部副理事(兼「いくるば」 事業統括長)
	長江恵理子	精神保健福祉士
学校側	吉村 智典	校長
	松岡 千年	副校長
	市川 学	教頭
	井戸 勇心	事務部長
	松本 義一	教務主任
	高木健太郎	生徒指導主事
	松浦 隆秋	進路指導主事
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 「学校に期待される役割等(スクールミッション)案」の検討について
 - 意見1: 「様々な特別活動、キャリア教育等」は、「様々」と「等」重複しているのではないかと。
 - 回答1: 指摘の通り訂正したい
 - 意見2: 「キャリア教育」は、説明がないと理解できない。よくわからない。
 - 回答2: 「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」などと説明できる。
 - 意見3: 前段の「確かな学力」が「学び直し」とすっきりとつながっているのに、後段の「コミュニケーション能力、自己肯定感」が「様々な特別活動、キャリア教育等」につながりにくい。
 - 意見4: 「コミュニケーション能力、自己肯定感」が「様々な特別活動、キャリア教育等」はどれも重要なので残しておいてもよいと考える。
 - 意見5: 「誰一人残さない」「きめ細かい教育」は先ほど見せていただいた、授業で見られる、「授業のわからない生徒をそのままにしない少人数教育」が背後に隠れているので非常に重要なワードである。
 - 意見6: 原案にスクールミッションとして必要で使われなくてはならない「ワード」についてはすべて上げられている。
 - 意見7: 原案について言い回しや文法上の問題がないかを検討して県教育委員会へ報告したらよいのではないかと。

回答7：そのようにさせていただきます。

(2) 学校評価（令和6年度保護者・生徒を対象とするアンケート）集計結果について

意見1：「外部との連携（地元自治体、高等教育機関、地元企業、地域住民との連携）」について、保護者・生徒ともに「あてはまる・ややあてはまる」が低いのは、取り組みが具体的に理解できていないからではないか。

回答1：学校HPには適宜掲載しているし、新聞などに取り上げていただいているので、さらに広報面での取り組みを広げたい。

意見2：保護者よりも生徒の集計結果の方がよい評価を得られている。生徒が学校を理解しているのはいいこと。保護者については、保護者も変わってきているため変わっている保護者に対応した取り組みに変化させることも必要ではないか。

回答2：保護者の変化に応じた取り組みについて進めていきたい。

意見3：「高校生としてのマナーや社会規範の遵守」について、保護者の評価が悪く生徒の評価がいいのは、頭髪や身だしなみの自由化が背景にあると考えられるが、就職や進学に対する準備として頭髪や身だしなみが整えられているのでそれはそれでいいのではないか。

回答2：保護者に対する理解を進めていきたい。

(3) その他の内容について

意見1：パワーポイントの使い方を身に付ける、「情報」の授業を見て、全員の生徒が使えるようになると同時に、早くできる生徒はどんどん先に進んでいくことのできる進め方は素晴らしいと思う。

意見2：社会問題となっている「闇バイト」に対する対策や指導について学校でも取り組んでほしい。

回答3：昨年度、「闇バイト」に対する講話を実施した。

6 会議のまとめ

- ・「学校に期待される役割等（スクールミッション）案」の検討を実施し、概ね了承を得た。
- ・公開授業週間に実施されている研究授業を参観していただき、この取り組みについて委員の方の理解を得た。
- ・学校評価（令和6年度保護者・生徒を対象とするアンケート）集計結果と分析について示し、今後の取り組みについての助言をしていただいた。
- ・昨年度から実施した「校則に関する指導の取組」について、生徒の姿を継続して見ていただいた上で取り組みに対する理解をいただいた。